

平成29年千代田区議会第2回定例会議事速記録（第1379号）【未定稿】

◎日 時 平成29年6月5日（月）午後1時

◎場 所 千代田区議会議事堂

◎出席議員（25人）

1番	岩	田	かずひと	議員
2番	秋	谷	こうき	議員
3番	岩	佐	りょう子	議員
4番	寺	沢	文子	議員
5番	大	串	ひろやす	議員
6番	米	田	かずや	議員
7番	大	坂	隆洋	議員
8番	池	田	ともり	議員
9番	山	田	丈夫	議員
10番	飯	島	和子	議員
11番	牛	尾	耕二郎	議員
12番	木	村	正明	議員
13番	小	枝	すみ子	議員
14番	小	林	たかや	議員
15番	松	本	佳子	議員
16番	永	田	壮一	議員
17番	内	田	直之	議員
18番	嶋	崎	秀彦	議員
19番	たかざわ		秀行	議員
20番	はやお		恭一	議員
21番	林		則行	議員
22番	河	合	良郎	議員
23番	戸	張	孝次郎	議員
24番	小	林	やすお	議員
25番	桜	井	ただし	議員

◎欠席議員

なし

◎出席説明員

区	長	石	川	雅	己	君	
副	区	長	山	口	正	紀	君

保健福祉部長 高齢者総合サポートセンター担当部長	歌川さとみ君
地域保健担当部長 千代田保健所長	田中敦子君
地域振興部長	松本博之君
文化スポーツ担当部長	門口昌史君
オリンピック・パラリンピック担当部長	細越正明君
環境まちづくり部長	保科彰吾君
まちづくり担当部長	大森幹夫君
政策経営部長	坂田融朗君
行政管理担当部長	清水章君
特命担当部長	須田正夫君
会計管理者	河合芳則君
総務課長	古田毅君
企画課長	亀割岳彦君
財政課長	中田治子君
(教育委員会)	
教育長	島崎友四郎君
子ども部長	大矢栄一君
(選挙管理委員会事務局)	
選挙管理委員会事務局長	高橋誠一郎君
(監査委員事務局)	
監査委員事務局長	吉村以津己君
◎区議会事務局職員	
事務局長	阿部寿君
事務局次長	依田昭夫君
議事主査	桐谷孝行君
議事主査	吉田匡令君
議事主査	赤海研亮君
議事主査	前田美知太郎君

午後1時00分 開会・開議

○議長（松本佳子議員） ただいまから平成29年第2回千代田区議会定例会を開会いたします。  
これより本日の会議を開きます。

会議録署名員を定めます。会議規則第124条の規定に基づき、議長から指名いたします。23番戸張孝次郎議員、24番小林やすお議員にお願いします。

会期についてお諮りいたします。

今定例会の会期は、本日6月5日から6月22日までの18日間としたいと思いますが、異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（松本佳子議員） 異議なしと認め、決定します。

報告します。

会議規則第3条第3項ただし書きの規定に基づき、議長において次のとおり議席の変更を行いました。

議席番号15番戸張孝次郎議員を23番とし、23番、私、松本佳子を15番といたしました。

次に、地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき、公益社団法人ゆとりちよだの経営状況について説明する書類の提出がありました。その写しをお手元に配付しましたので、ご了承願います。

報告を終わります。

○議長（松本佳子議員） 石川区長に、議会招集の挨拶をお願いいたします。

〔区長石川雅己君登壇〕

○区長（石川雅己君） 平成29年第2回区議会定例会の開会に当たり、私の区政運営における所信を申し上げます。

初めに、本年4月1日、千代田区の住民基本台帳人口が昭和56年以来36年ぶりに6万人を超えて、6万297人となりました。

顧みますと、本区の人口は、日本の高度経済成長とともに業務地化が進行し、昭和31年の約12万人をピークに、昭和36年以降減少し、平成12年4月には、過去最低の約3万9,000人にまで落ち込みました。この間の人口減少を自治体存亡の危機と捉え、定住人口の回復を区政の最重要課題として取り組んでまいりました。

その結果、平成12年から一貫して増加が続き、ついに平成25年4月には、本区が目標としてきた日本人の定住人口5万人を達成いたしました。さらにその後も増加が続いていることは、まことに感慨深い思いでございます。

本区の人口が増加している要因は、住み続けられるまちを目指して住宅整備や住環境の向上などの施策に取り組むとともに、子育てしやすいまち、高齢者に優しいまちを目指して、さまざまな取り組みを長期的に積み重ねてきた成果であると考えております。

これからも人口増加に伴う行政ニーズの変化に的確に対応するとともに、千代田区がさらに住みたいまち、選ばれる自治体となるよう、区議会の皆様を初め、区民の皆様とともに、さまざまな施策を推進してまいりたいと存じますので、今後とも引き続きご理解、ご協力をお願い申し上げます。

次に、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催を契機とした取り組みについて申し上げます。

昭和39年以来、56年ぶりの開催となるこの競技大会は、開催都市である東京はもとより、本区にとりましても、対外的に区政をアピールすることができる絶好の機会であると考えております。

オリンピック・パラリンピック競技大会は、人々に夢と感動を与えるだけでなく、オリンピック成功という一つの大きな目標に向け、これまで達成が難しいとされていた諸課題についても、国民が相互に協力し、解決していくことができる力があると私は信じております。また、その過程においても、ハード、ソフトの両面から有益な遺産、いわゆるレガシーが残されてきました。

半世紀を経て、2020年に競技大会が開催されることを契機として、区はまちの魅力や風格を一層高める、総合的な施策を推進するため、各分野において実施すべき施策や事務事業をまとめた千代田区オリンピック・パラリンピック推進プロジェクトを平成27年3月に策定し、大会後を見据えた風格のあるまちを目指し、現在取り組んでいるところでございます。

戦後復興を掲げた前回の東京大会では、高速道路や東海道新幹線などのインフラ整備が進められ、これまでハードレガシーとして引き継がれてきました。今回は、経済的に発展し、豊かになった「成熟都市・東京」での開催でありますので、かつてのようなインフラ中心の時代ではない

と考えております。

成熟した都市である千代田区においては、オリンピック大会と同時に開催するパラリンピック大会を契機に、区に住み集う多様な方々が、それぞれの立場や障害の有無などを乗り越え、お互いの価値観や文化を受け入れ、交流できる、まさに地域共生社会の実現を促進する好機であると思っております。そして、この実現に向けた取り組みこそが、本区における新たなレガシーにつながるものと確信をしております。

さて、2020年の大会までは、残すところ3年余りとなる中で、区の取り組みについて、より一層加速させ、着実に進めていく必要があります。とりわけ、区民の気運を盛り上げ、次代を担う子どもたちの心にレガシーを残していくことは、区としても重要な取り組みの一つであるとして認識しております。この気運醸成に向けた取組みとして、来る6月10日に共立講堂を会場としたフラッグツアーが本区で開催されます。

フラッグツアーとは、記憶に新しいリオ大会の閉会式においてリオから東京へ引き継がれたオリンピックフラッグ、パラリンピックフラッグのもと、競技大会のすばらしさやその価値を考え、気運醸成を図ることを目的に、東京都内の全区市町村及び東日本大震災で被災した東北3県などを巡回するもので、千代田区が最終のゴールとなっております。また、この機会に合わせて、区立昌平小学校を卒業されたリオオリンピック柔道男子90キログラム級の金メダリストであるベイカー茉秋選手をお招きし、トークショーも予定しております。

私は、子どもは我々の未来を担う宝物であると常々申し上げてまいりました。次代を担う子どもたちに、オリンピック・パラリンピックの価値を伝えることや、オリンピアの生きた声を聞いてもらうことは、今後の人生の糧となる、かけがえのない心の遺産につながると思っております。

今回、フラッグツアーに区内の小中学校から約1,000名の児童・生徒に来ていただけることとなり、大変喜ばしいことと思っております。また、こうした取り組みを呼応するように、地域からも区民参加型のイベント実施について要望が寄せられております。この中には、子どもが主役となるイベントもあり、子どもたちが大会開催を契機に、日ごろの活動を披露する機会等をつくることが提案されております。これはすなわち、子どもたちが参加や体験を通じて、記憶とともに新たなレガシーを引き継いでいく取組みであると思っております。

区といたしましては、今後もさまざまな施策を通じて、オリンピック・ムーブメントを盛り上げてまいりたいと思っております。そして、2020年までの限られた時間ではありますが、より質の高いレガシーを次世代に引き継げるよう取り組んでまいります。

最後に、今回提案いたしました諸議案等についてでございます。

まず、条例関係であります。条例の一部を改正するもの2件、条例を廃止するもの1件の、計3件であります。

次に、契約関係であります。区立九段小学校・幼稚園改築工事請負契約の一部変更について1件、防災被服及び災害対策用備蓄物資等の購入に関するもの4件の、計5件であります。

また、報告関係といたしまして、平成28年度千代田区一般会計予算の繰越明許費にかかわる歳出予算の繰越しについて1件で、今回の付議案件は合わせて9件であります。

何とぞ慎重なご審議の上、原案どおりご議決賜りますようお願いを申し上げます。

以上をもちまして、平成29年第2回区議会定例会の開会の挨拶といたします。どうぞよろしくお願いたします。

○議長（松本佳子議員） これより日程に入ります。

日程第1を議題にいたします。



東京都後期高齢者医療広域連合議会議員選挙候補者について

○議長（松本佳子議員） お諮りいたします。

東京都後期高齢者医療広域連合議会議員選挙候補者については、指名推選の方法により決定したいと思いますが、異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（松本佳子議員） 異議なしと認め、決定いたします。

お諮りいたします。

本件の候補者に桜井ただし議員を指名したいと思いますが、異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（松本佳子議員） 異議なしと認め、決定いたします。

○議長（松本佳子議員） お諮りします。本日は以上で延会したいと思いますが、異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（松本佳子議員） 異議なしと認め、決定いたします。

次回の継続会は6月12日午後1時から開会します。ただいま出席の方には文書による通知はいたしませんので、ご了承願います。

本日は以上で終了します。延会します。

午後1時14分 延会